

< 機械・農作業の共同化に取り組む事例 >

農地環境の整備による農作業の効率化を目指す

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県西予市 ^{せいよし} 上組 ^{かみぐみ}			
協定面積 12.2ha	田 (82%)	畑 (18%)	草地	採草放牧地
	米、葉たばこ等	栗、ケール等		
交付金額 218万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員会議費		4%
		農道・水路維持管理費		4%
		農地管理費		1%
		共同利用施設整備費		5%
農機具購入積立		36%		
協定参加者	農業者25人、非農業者3人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

当集落は、西予市旧野村町に位置する典型的な中山間地域で、過疎化が進行しているいわゆる“限界集落”である。集落内において中心となるのは50歳代以上で、このまま高齢化が進行すれば近い将来において集落活動を維持していくことが困難になると考えられる。

こうした中、荒廃していくことが懸念される農地の対策について集落内で協議した結果、共同機械・施設を導入し、共同作業による農地環境整備や農作業の効率化を目指すこととし、協定の締結へ至った。

3. 取組の内容

年2回実施している共同草刈り作業による集落内農地の美化活動や共同利用機械による農地整備等を行い、農地周辺の作業環境の向上を図った。また、非農業者らと共に景観作物の植栽・管理を行い、環境美化の活動を行った。



【非農業者らと共に景観作物を植栽】



【共同利用機械による農地の整備】

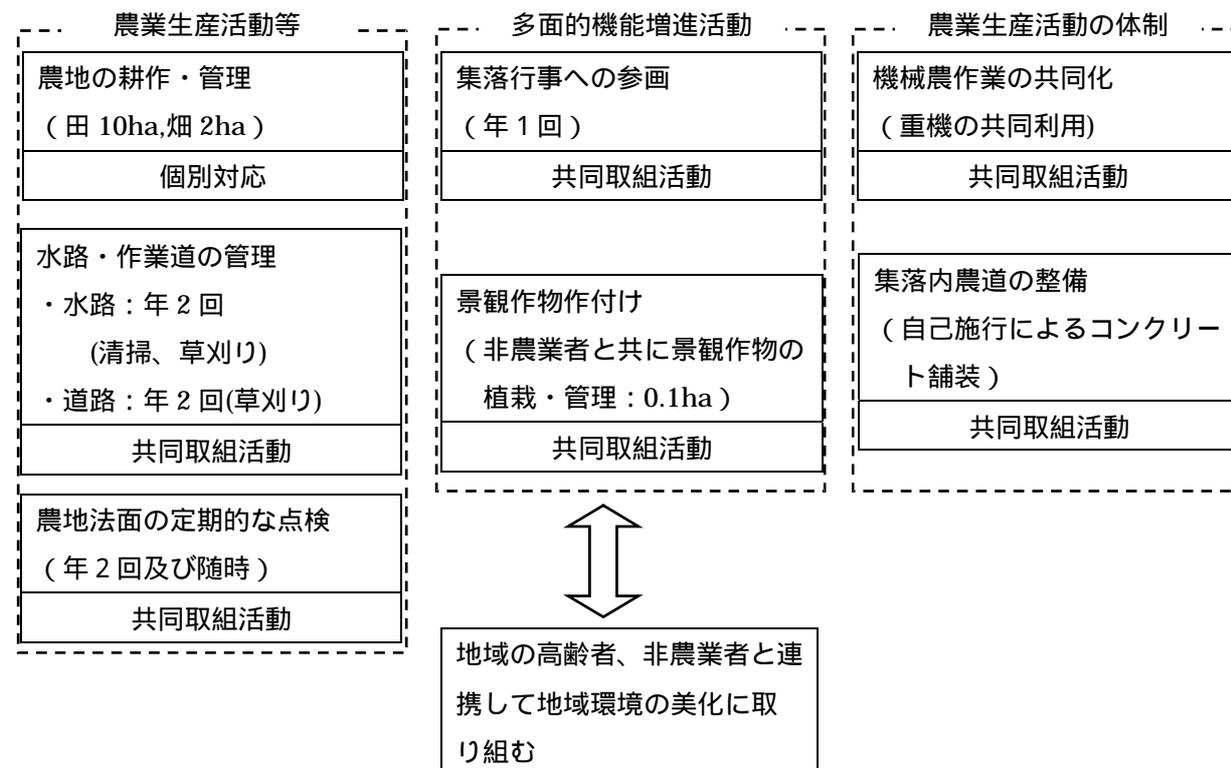
[集落の将来像]

共同活動や、機械の共有化により農作業の効率化を図り、耕作放棄による農地の荒廃を防止する。また、高齢者や女性に合った新規作物の研究・導入を行い、高付加価値商品の生産を行い、集落作りの活性化を図る。



[将来像を実現するための活動目標]

共同機械・施設の利用による耕作の効率化を図る。また、共同活動による景観美化・生産環境の改善に努め、集落環境を良くしていく。



4 . 今後の課題等

農業用機械等を購入し、共同作業による農地環境の整備等に取り組んできた結果、集落内の農産物の生産条件は向上したが、今後、このまま高齢化が進行していくと、本活動により構築された活動体系を維持していくことが困難になると考えられる。

そのため、今後は、今以上に非農業者等の参画を呼びかけるとともに、担い手になり得る定年退職者等と連携し、集落の担い手の確保・育成を努める必要がある。

【第 2 期対策までの主な成果】

農道のコンクリート舗装：約1,000m

非農業者とともに景観作物の植栽・管理：0.1ha

農業用機械の購入：重機（コンボ）